



新潟県立長岡工業高等学校同窓会東京支部会報

東京支部だより

第 16 号

〒178-0061

東京都練馬区大泉学園町 8-18-32

発行人：支部長 樋口 昭

編 集：会報編集委員会

創設40周年記念

世代が繋がる
心が結ばれる
同窓の絆は永遠に



昭和三十八年頃の長岡工業高校校舎風景 藤井克之／画

一般社団法人

新潟県立長岡工業高等学校同窓会東京支部

校歌

越の廣野を 心のままに
流れながるる 信濃川
岸のみどりのけふれる中に
わが学舎ぞ 建てりける
川におりたち 纜解けば
水は はるばる 八十里
もしそれ西へ 海原行けば
亜細亞廣々 八萬里
世界の富を八十綱かけて
引くが如くに 引きよせて
業も巧の 誉を挙げて
國の栄を いざ図れ



長陵讃歌

嗚呼 長陵の岡の上や
蒼紫の森の靈に触れ
信濃の流れ 右に見て
緑に烟る 陵南に
世紀を担う 若人が
築く文化の 金字塔
白雲常に 漂える
峨々たる 鋸峰 背に負はば
昔の影を 映しつつ
永遠に流るる 信濃川
噫 長陵よ 幾千歳
噫 長陵よ 幾千歳
噫 長陵よ 長陵よ
噫 長陵よ 長陵よ
この山川に 我れ育ち
鉄の響きに 我れは生く
噫 長陵よ 長陵よ
噫 長陵に 栄あれ

ご挨拶

支部長 樋口 昭 (S29E)

長工同窓会東京支部 創設40周年 お祝い申し上げます。

同窓会本部は116周年の歴史を有しており、以前 関東地区は各学科 が私的に単独な活動を致しておりましたが、昭和54年に星野周助さん（染織S6年卒）のご尽力で各学科が統合して組織的に統一して活動致して参りました。

創設者の情熱、ご苦勞を思うに万感胸に迫るものがあり、敬意を表します。

この功績は高く評価され、歴史に残るものであります。その意思を継承して歴代支部長、役員各位が幾多の事情を克服して本年40周年を迎えることが出来ました。

この長期に亘り、東京支部をご理解、ご支援頂いた会員各位、母校同窓会本部並びに関係各位に深甚の感謝を申し上げます。

東京支部は「世代は繋がる、心が結ばれる、同窓の絆は永遠に」を理念に、新潟県人会、越後長岡ふるさと会、ふるさと文化会、村松高等学校東京同窓会、若波会等 関係団体と深交を深める等 東京支部の「共通の価値観の創造」に務めて参りました。

この40周年を節目に、誇りある「歴史と伝統」を汚さず、長工精神を亡失することなく、更に目的達成に努めて参ります。

会員各位を初め、母校、同窓会本部並びに関係各位の倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ささやかながら「40周年の思い出集」等、記念行事ができることは誠に喜ばしいことであり、関係者の勞を犒うとともに御礼申し上げます。

母校、同窓会本部、関係各位の益々のご隆盛を切にご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。



《継続は力なり》 創設40周年おめでとうございます。

新潟県立長岡工業高等学校同窓会 会長 山下 進

何故かは知らないが年末年始に駅伝大会が集中している。師走も押し迫る京都市では、都大路を走る全国高等学校駅伝競争大会がある。20年程前に、母校長工も出場した大会である。（長工は平成9年第48回大会に出場した。）

新年を迎えた元日早々には、群馬県で全日本実業団対抗駅伝競走大会があり、2日3日には、正月の恒例行事にもなっている、東京箱根間往復大学駅伝競走がある。高校、大学は母校の、実業団は企業の名誉と栄誉を掛けて走るのと言うまでもない。更にこれまで支えてくれた人達や、地域の思いをも背負い、只々ひたすらに前を見て走り続け、そして襷をつなぐ。そのひたむきさ、一生懸命さが見る人の心を捉え、感動を与えるのだろう。

卒業してからの私は母校とのつながりは薄れ、所属していた長工バレーボール部OBの仲間との、年1回の飲み会が唯一のつながりとなっていた。

縁あって現在、母校の近くに住んでいるが勤め先が小千谷でもあり、住まいのある長岡では、酒造業に係ること以外は、ほとんど参加をすることは無かった。

ただ案内が届く同窓会総会には、できるだけ参加をするようには心がけていた。そんなこともあり、母校110周年記念事業の際に実行委員会から声がかかり、2年先輩の松岡達英さん（昭和38年電気科卒）の記念講演の相手役として、壇上に上がるという大役を仰せつかり、この事が同窓会役員の仲間に入れていただくきっかけとなった。そんな経験も浅く、何も知らない私が平成28年度の総会で、馬場前会長より会長の襷を受け継ぐことになった。これからは前記の駅伝の走者の様に、ただひたすらに前を見つめて歩み続け、次世代にこの襷をしっかりとつないでゆきたい。会員の皆様のご指導とご支援、そしてご鞭撻を只々お願いするしだいである。



長工の歴史と伝統のために

県立長岡工業高等学校 校長 太田 洋一

長岡工業高等学校同窓会東京支部創設 40 周年にあたり、心よりお祝いを申し上げます。

私事で恐縮ですが、愛知県出身で新潟県に母校を持たない私が新潟県に奉職し、長工に教諭、教頭、そして現校長として三度目の勤務をさせていただき、長工こそ教師として育てていた我が母校という思いを持つ中で、この度、同窓会東京支部の皆様とともに創設 40 周年をお祝いさせていただくことは、身に余る光栄なことであります。長年にわたり支部を支えてこられた役員を始め多くの会員の皆様のご尽力に対し、深く敬意を表するとともに、御礼を申し上げます。毎年 4 月の始めに、本校の新入学生全員に対して、「長工の歴史と伝統」と題して校長自ら語り聞かせる機会があります。その際には、100 年を悠に超える長年の学校の様々な変遷や、工業学校・工業高校として果たしてきた役割、そして卒業生諸先輩方の輝かしいご活躍について熱く語っているところですが、同時に、「これからの長工の歴史を作っていくのは新入学生自身に他ならない」と、長工生としての意識の高揚を促しています。世の中には変えていかなければならないことと、変えてはいけないこととがあると思っています。



「工業」は「ものづくり」です。その時代に求められることに応えていく必要があります、常にその時代のリード役、次の時代の先駆けでなければなりません。これは変えていかなければならないことであり、これが「新たな歴史」になると考えています。しかし一方で、変えてはいけないものがあり、それは「ものづくり」を何のためにするのかということです。工業は、世の中を幸せにするために「ものづくり」を通して貢献し、世の中を支えることを目的としている。これが変えてはいけないものであり、卒業生諸先輩方が築かれた長工の「伝統」そのものなのではないでしょうか。本校は、平成 26 年度入学生から各小学科単位での募集をやめ、「工業科」として一括くくり募集とし、入学後にコース分けをして学び、従来通りの各小学科の名前での卒業とすることとしました。これは、「ものづくり」に対する意欲と意識の向上を図り、各コースでの学びを一層深め、本校が時代のリード役を果たし続けるための「新たな歴史」の始まりを意味します。そしてこのことにより、長工が時代のリード役、次代の先駆けであり続け、これまでの長工の「伝統」をより発展させることができると確信しております。今後も校長として、東京支部の卒業生諸先輩の皆様の母校をしっかりと守ってまいります。同窓会からの長工への変わらぬ御教示、御鞭撻をどうかよろしく御願ひ致します。



ふるさと納税『同窓会費』に感謝！

一般社団法人新潟県立長岡工業高等学校同窓会名誉会長 馬場 潤一郎

夜行列車で東京・首都圏に就職した同級・同期生は、戦後の経済成長期の労働力として全国から集まった人財でした。その背景には、就職先で日本の産業（生活の豊かさを求める商品の製造など）と技術力の成長発展を全力で底支えすると共に挑戦し続け時代を拓き生き抜いた同窓生の活躍と姿があります。その活躍の「汗と涙の結晶」に心から敬意を表する次第でございます。昭和 39（1964）年東京オリンピック並びに昭和 45（1970）年大阪万博は、国民の二大祭典と言われた国家プロジェクトとして盛会に行われ、その後の世界経済は「オイルショック」を経て紆余曲折の景気波動を全国民が体感したことが思い起こされます。そのように変遷する中で、私たち長工同窓会の先達は各科の垣根を取り払い同窓の交流と人的なつながり「絆」を優先尊重する新組織「東京支部」として再生されました。その団結力は、同窓会本部との「太いパイプ」となり同窓会支部活動の模範となるもので心から拍手を贈りたいと思います。また、母校とふるさと長岡への「思いの強さ」を、80・100・110 周年記念事業の寄付金をはじめ、同窓会運営の基礎となりますふるさと納税よりも素晴らしい『同窓会費』を率先して納めてくださる東京支部会員の皆様に対し心から厚くお礼を申し上げます。



この度の、東京支部創設 40 周年記念誌発刊は、大きく世界が、産業構造が変わろうとしている時、日本の産業史の中での生き様と共に日本人らしい『信頼関係・絆』の中に成立している同窓会の記録・足跡とされることに大きな喜びを感じます。諸先輩の積み重ねられました心豊かな「絆と長工魂」を後世に持続する同窓会運営を共に誓い、東京支部役員はじめ会員各位のご尽力に深くお礼を申し上げお祝いと致します。

長岡工業高校同窓会東京支部創立 40 周年を祝して

若波会会長 斉藤 実

この度は長岡工業高校同窓会東京支部の皆様におかれましては創立 40 周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

この節目にあたりお祝いの言葉を申し上げられる機会をいただきまして大変光栄に存じます。かえりみますと、私達若波会にお声を掛けて下さいましたのが平成 19 年 7 月のことでした。以来毎年の総会・懇親会で佐渡民謡を披露させていただけますのも、皆様の行き届いたご配慮の賜物と改めてお礼申し上げます。

数年前より 6 月に入りますと樋口支部長様をはじめ数名の役員様が、翌月の総会当日に踊られる「佐渡おけさの輪踊り」を楽しまれるため私達の練習会場である荏原中延文化センターまで足を運ばれて共に練習に励んでおられます。いつしか私達は毎年 6 月に入りますと長岡工校同窓会の皆様がお見えになれる水曜日を楽しみにお待ちするようになってまいりました。

どうか今後とも厚き交流をお願い申し上げますと同時に貴会のご発展と会員皆様のご健勝、ご繁栄を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



長岡工業と松高東京同窓会は強い絆を大切に！

村松高校東京同窓会会長 金子鶴男

明治三十六年(1903年)村松に県下初の工業学校が開校しました。その後、長岡市へ移転となった後、明治四十四(1911年)県立村松中学校が創設され、現在の県立村松高等学校となっております。そこで母校村松高校の歴史を遡ると、明治三十六年創設の県立工業学校に辿りつき、校門だけが当時を伝える唯一の建造物となります。その校門は一對の正柱がイギリス式煉瓦積み、脇の副柱がフランス式で、その英仏共存の貴重性もあって、明治の記念碑的建造物として登録文化財の指定を受けました。

県立工業学校と村松高校の祖先、村松中学は全く別の学校ですが、工業学校の校地・校舎を引き継いで村松中学校が発足したという深い繋がりがあります。

明治 36 年に開校した工業学校(同年に同時開校で農林学校が創設される。)は 3 年後に両校とも地名を加えて村松工業学校、加茂農林学校と校名を変えました。

その後、村松工業学校は明治 42 年に長岡移転となり、長岡工業高校となりました。



思い出の木造校舎



登録文化財指定「校門」

歴史を辿りましても長岡藩・村松藩共に多くの共通点があります。

長岡藩といえば「米百俵の精神」で有名な小林虎三郎の積極的な藩改革、村松藩は藩祖・堀直時は郷方法度(ごうがたはつと)、藩老・堀玄蕃(ほりげんぱ)によって藩政改革が実施され、年貢、運上緒役銭などが厳しく取り立てられました。

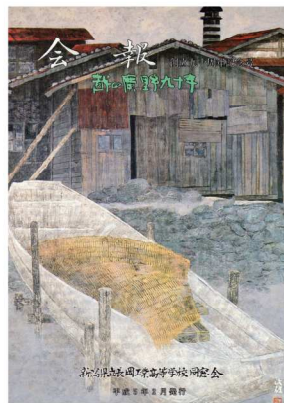
長岡藩 1870 年(明治 3 年)廃藩、村松藩 1871 年(明治 4 年)廃藩。どちらの藩も藩民のため藩政改革を実施され藩民から誠義尊敬されていました。今後供ますますご厚誼、ご交流よろしく願いたします。

長工同窓会東京支部創設のあゆみ

回数	年	あゆみ	会 場	出来事 (母校)
第1回	S54年	長工同窓会東京支部創設 (染織科・化学科) 星野周助氏の努力の賜による	三笠会館	マンドリンクラブ全日本ギター・マンドリンフェスティバルで優秀賞
第2回	S55年			
第3回	S56年			マンドリンクラブ3年連続優秀賞
第4回	S57年	長工創立80周年		校舎全景航空写真撮影
第5回	S58年		池ノ端文化センター	
第6回	S59年			定時制卓球部全国大会出場
第7回	S60年	中野緑栄氏40年ぶりの卒業式 (戦争のため卒業式が行われなかったことから、熊沢校長の配慮で行われた)		まぼろしの卒業式 (S20年5制卒の卒業証書授与式)
第8回	S61年			電子機械科新設 機械科1クラス減
第9回	S62年			文化教養講座に東和洗染顧問 星野周助氏を招聘
第10回	S63年	長工同窓会東京支部創設10周年		マレーシア教育視察団訪問
第11回	S64年 H1年			フォートワース市学生訪問
第12回	H2年		第15代 伊藤校長	高校生作品コンテスト会長賞受賞
第13回	H3年			
第14回	H4年	長工創立90周年		「越の廣野90年」刊行
第15回	H5年		第16代 浦壁校長	セミナーハウス竣工
第16回	H6年			
第17回	H7年			芸能鑑賞会 (寺内タケシとブルージーンズ)
第18回	H8年		第17代 石田校長	プール完成
第19回	H9年			第48回全国高等学校駅伝大会出場 染色科名称をテキスタイルデザイン工 学科に改称
第20回	H10年	長工同窓会東京支部創設20周年		陸上部 第48回全国高校駅伝大会出場
第21回	H11年		2代支部長 中野緑栄氏	定時制閉課程式典を挙行
第22回	H12年	各科代表: 並木氏 (染色科)・井口氏 (機械科)・野村氏 (化学科)・中野氏 (電気科)・磯部氏 (電子科)	第18代 後藤校長	
第23回	H13年	各科総会・懇親会統一を決定 (次年度より)	第19代 笹本校長	長工会館完成
第24回	H14年	長工創立100周年 第1回東京支部統一総会・懇親会		「越の廣野100年」刊行
第25回	H15年	長工東京支部便り創刊号発行	第20代 小林校長	
第26回	H16年	ジョギング同好会設立		
第27回	H17年		3代支部長 並木政治氏	第21代 久保田校長
第28回	H18年	若波会参加 (本間会長)		
第29回	H19年	散歩クラブ設立 東京支部ホームページ開設		オーラム
第30回	H20年	長工同窓会東京支部創設30周年		
第31回	H21年		第22代 村山校長	
第32回	H22年			
第33回	H23年	LMC・LGC・ゴルフクラブ部設立 新潟県人会 参加		ロボット部がロボカップ世界大会出場 (トルコ)
第34回	H24年	長工創立110周年 S29E樋口支部長 長工大賞受賞	4代支部長 樋口昭氏	第23代 安達校長
第35回	H25年			ロボット部がロボカップ世界大会出場 (オランダ)
第36回	H26年	若波会参加 (斉藤会長)		入試制度改革 (一括募集) 2年次より各科に振分け
第37回	H27年	S20E中川伸策氏 長工大賞受賞	越後長岡ふるさと会参加	長工マンドリンクラブOBリリック ホールで演奏会 (満員御礼)
第38回	H28年	S20E中川伸策氏 「瑞宝双光章」叙勲	若波会出合い 10周年記念親睦会	元本校教員吉川修先生がマスターズ 世界大会やり投げM80で優勝・一括募 集の最初の生徒が卒業
第39回	H29年	東京支部40周年記念事業計画委員会立ち上げ	第24代 太田校長	
第40回	H30年	長工同窓会東京支部創設40周年記念		



昭和57年 母校創立80周年



平成4年 母校創立90周年



平成14年 母校創立100周年



第2代支部長
中野緑栄氏

第1代支部長
星野周助氏

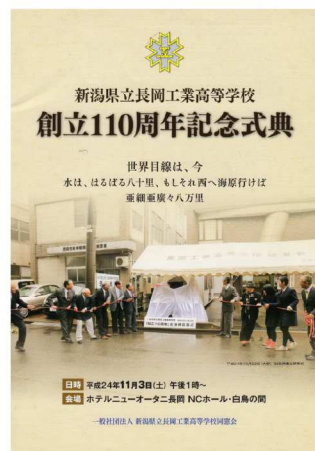


平成16年 華やかな総会・懇親会

平成15年 支部だより創刊号発行



平成19年 支部ホームページ開設



平成24年 母校創立110周年



平成27年 越後長岡ふるさと会に参加

大先輩から

東京支部 創設 40 周年に想う

S20C 田原 吉郎

私は昭和15年に寄宿舎に入寮し、勉学に励みました。然し当時、日本の国策で昭和19年、5年生で学徒動員により名古屋の軍事工場に派遣されました。4年生で剣道2段を取得致しました。 当時は戦時精神教育であり、「森山善雄」学校長のもとで長工精神「至誠、質実剛健」を会得いたしました。

東京支部創設40周年、誠におめでとうございます。昭和54年、星野周助 初代支部長のご尽力で統一され、2代 中野緑栄、3代 並木政治、現樋口昭氏に依って運営されています。歴代の支部長さんは其々、素晴らしい方々で有ります。この間、経済、社会情勢の大きな変革激動の中、種々困難なことが有ったと思いますが、素晴らしい指導力と責任感を発揮され、支部長の責任を果たして頂きました。この場をお借りして心から感謝申し上げる次第でございます。私は、中野支部長の頃から年1～2回の会合に参加する位の誠に申し訳なき状態でしたが、並木氏のころから総会にも参加いたし、支部長や役員の方々のご尽力をなさる姿を拝察し、申し訳なく思っております。現 樋口支部長は本部との連携を密に、支部の反省、活性化に積極的に取り組み、また新潟県人会等にも働きかけ、各界に参画されて東京支部の知名度向上に努められております。40周年の節目として更なる発展にお努め頂きますよう希うとともに母校の発展、同窓会本部、支部の益々の隆盛をご祈念申し上げます。



長工東京支部と共に歩む

S20E 中川 伸策

北海道野幌の林業試験場に入所したのは昭和21年9月でした。以来、東京目黒、茨城県筑波研究学園都市と勤務地を巡り、平成3年3月無事に定年退職を迎えました。長工同窓会の会場が池之端文化会館時代、奇しくも大先輩の熊沢校長先生に（愚妻が新津高校で数学を習う）揃ってご挨拶が出来たこと、元東京支部長の中野緑栄先輩との出会い、そして幾人かの同級生と懐かしい顔合わせ、更に終了後は一回りも若い人達と意気投合、散策し乍ら二次会での交流と、同窓会ならではの誠に心温まる楽しい一時でした。長工創立100周年を過ぎた頃から、同窓会本部の人達に種々お世話になっております。平成28年秋、私の叙勲に関して、当支部長の樋口昭さんから、お褒めの言葉とご配慮を頂き、更には本部会長・山下進さんから同じく写真入りラベルの紅白ワインのご恵送を受け、有り難く感謝しております。前後しますが、平成26年に長工大賞受賞の高木誠之助先輩より、伯母で現、川崎町の星野自動車工業の先代社長とご昵懇の間柄だったと伺い感動致しました。支部40年の歩みを糧とし、健康寿命を保持しつつ、会の更なる発展を祈念致します。



軍国少年の思い出

S21M 樋口善八郎

東京支部創設40周年おめでとうございます。歴代の支部長、役員の皆様のご苦勞、ご尽力に感謝申し上げます。ここに40周年を迎えることは長工OBの絆の強さを思う。私、昭和12年小学2年生に日中戦争、6年生に大東亜戦争突入、昭和19年に長工機械第2本科に入学、20年8月長岡空襲、終戦。幼年期は戦争で始まり、戦争で終わりました。

長工時代は19年5月に3～5年生は学徒動員で各工場に派遣されて学校には1、2年生のみ先生も出征され、学校授業は2／3程度、1／3は開墾、食糧生産で農家に手伝い支援に励みました。20年4月からは2年生も県内工場へ派遣されました。このような状況から応援歌の練習は無く歌ったことが無い、然し学生の本分、校歌はキチンと教わり今尚歌います。当時精神教育は軍人教官で、特に紀律と年功序列は厳しいものであった。そこで得たものは「智 仁 勇」の心であり、今思うに良く耐えたもので有った。20年8月1日の長岡空襲の翌日2日「ニギリ飯」を持って学校に行き、寮生数名と先生を見舞いました。



先生から明日も明日も頼むと言われ、数日間届けました。善行、慈悲心 今も思う。

機械科を卒業したが戦災で住宅難有り、建築部門で国土復興に従事致しました。

青春時代を共に志し同じく勉学、修行に励み、耐えた同級生が往年を回想し毎年蓬平の和泉屋でクラス会を行っています。このクラス会は54年間継続です。激しい修業であったが、伝統のある長工で学び、同窓生に恵まれたことは喜びです。母校、同窓会のご繁栄をご祈念申し上げます。戦争の被害は膨大で計り知れない、戦争が無く平和な世界を祈る。近隣諸国の緊張は続く「浜の真砂は尽きるとも世に戦いの種は尽きまじ」



私と同窓会

顧問 S28W 並木 政治

昭和49年頃、勤務の都合で大阪に居た頃に、神戸、大阪地域の同窓の集まりで阪神長工会があり、私も参加して約30名程の集まりでしたが和やかで楽しい会でした。電気昭和16年卒の金子世話役に変にお世話になりました。その後東京に転勤になり、平成6年頃に同窓会東京染色会にお世話になりました。同級生の林君が染色会の会長でしたが、家庭の都合で染色会の会長を辞退することになり、その後釜にと長橋君や元井君と大先輩の伊比さん、星野周助さん等の熱心なお言葉もあり、染色会の会長を引受けることになりました。平成9年各科会長の仲間入りをしました。当時各科会長は「機」井口正一、「化」野村清弘、「電」中野緑栄、「電子」磯部輝雄の各位でした。その頃同窓会は、各科で総会を行い、後に統一して懇親会が行われていました。その後、各科会長の話し合いの結果、総会、懇親会を統一して同窓会東京支部として行うことで意見が一致し、平成14年支部統一が実現しました。翌平成15年上野池之端文化センターでの総会では、東京支部だよりも創刊され、名実ともに統一した東京支部が発足しました。平成16年の総会で中野支部長が退任され、後任に各位の推挙を頂き、不肖私が東京支部長に就任致しました。副支部長に電気昭和29年卒の樋口くんに就任して頂き、助けて貰いました。また、総勢40名から成る役員で支部が構成され、大きな力で活動して頂き、支部発展に大きな原動力となりました。在任中に多くの事柄がありましたが、東京同窓会創立から努力され、発展に導いた星野周助大先輩の行動力と、本部との協調と数々の進言を行った中野緑栄先輩の二人に敬意を表するとともに、大先輩お二人との別れは心が痛みました。母校百周年記念事業に皆で頑張った成功させたこと、各種同好会が出来て其々が楽しく活動していること、若波会との出会いがあり、毎年懇親会に出場して頂き、相川音頭、佐渡おけさを踊って懇親会に花を添えて頂き心から感謝しています。延べ8年に渡り本部の副会長として多くの本部役員に助けて頂き、無事退任できたこと等、東京支部長を勤められたのは樋口副支部長及び各役員の皆さんの支えによるものと心から感謝しております。



東京支部の創設に思う

S29E 樋口 昭

昭和50年代初頭に星野周助さん（染色S6年卒）が関西から東京地区に転勤され、「東京地区に同窓会東京支部が無いのは異状で有り、各学科が単独の活動では同窓会と言えない。直ちに統合して統一活動するべきである」と強く主張され、自ら行動されました。その情熱、執念、行動力は並大抵では無く、他に類を見ないもので有った。当時、私は電気会の末端要員でしたが、直接、ご高説を拝聴致しました。

それは強制的でなく、理路整然としたもので有った。「長工では専門の修学は違っても伝統ある長工精神は同じく、終業した者がバラバラの行動では長工の伝統を汚す、君たち若年層がやらねば誰がやる」等々論されました。その趣旨の実現に向かって各学科会で検討することになりました。

然し、理論は理論としても従来の習慣を変えることは違和感が強く、種々障害が有った。電気会では（会長 長谷川章人（E16・12月）副会長 中野 緑栄（E20））中野副会長から「方針は決まった。同窓会の統一活動の活性化には組織的な運営である。その主旨を心得て電気会の同意を得るように」と指示を受けました。

統一行動の価値観を疑問視する意見も多くあったが、関係要員が飲食店で10数回の打合せを経て合意致しました。統一後の運営については各学科の要員が新宿の喫茶店「談話室」で数回打合せを行い、「同窓会の名を語る悪徳商法、同窓会は我が身の為にならず、同窓会とは無縁」等々の話を今尚、記憶は甦る。並木政治 前支部長の主導で組織的に運営、活動いたし今日に至りました。先人の洞察力、先導によって、ここに40周年を迎えることが出来、これに勝る喜びは有りません。先人の偉業を称え、その精神を継承し、後輩に伝承して参ります。



長陵健児の思い出

S29E 近藤 昭男

40周年記念を心からお祝い申し上げます。

故郷を離れて中央でご活躍の東京支部諸兄は、思えば在学当時から「校友九百」の誇りであり、勇気であったと感謝していました。

私の今日までは「越の広野」であり、振り返れば「長陵健児」が懐かしく思いだされます。

東北電力で労組役員の頃、正副委員長と私が「長工軍団」と言われ、佐渡に赴任した時には「所長以下は長工の三役揃い踏みだ」と呟いた係長。同僚で入試県トップの長谷川君、人情家で剛腕、三条のK課長。母校創立記念でリレートークを一緒に行った長岡の大物S所長。そして「長陵健児」を断念した長岡夜間中の兄も思い出す。

東京支部総会には、平成10年同級会の伊香保温泉から池之端文化センター会場に参加したことや、”七十歳功労者”のリボンを胸に、感激した平成17年のオーラム総会の楽しい思い出もある。

今回の祝記念総会には、上野東天紅での同級会(32回)から、みんなで参加し、来年には長工29年会による「卒65年を祝う会」を行う楽しい計画もある。

これからも「長陵健児」との再会を楽しみに“長工あつての今日”を忘れず過ごしたいと思う。



私の長工同窓会東京支部への参加の^{こうし}嚆矢

S29E 富沢 敏範

S57年から栃木県塩原町の日光国立公園特別地域の地下に計画された東京電力の90万KW塩原揚水発電所建設(総予算2千億円)の電気主任技術者だった。総建設所長は旧制東大土木工学卒、他に東大卒が4名隣に座するは京大修士卒、その若手諸君に、「各々方、随分立派な学歴をお持ちじゃなあ、でも拙者は長岡工業高校電気科と云う所を卒業したんじやよ・・・」と。基本設計、予算設計、総括実施稟議の決済、それで漸く本体着工に漕ぎ着けた。事後、同僚のE29近藤義男氏(故人)に引継いで単身解消となった。工事に際しては、急峻な地形の山中に工専用電線路も工専用電話回線も作らなければならない。此の為、5トン吊りの軍用仕様のヘリを使って工事をした。架空地線に光通信回線(OPGW)を入れ(本邦最初の試み)急ぐ時は、配電線路の添加電話線工事を直営でやったりもした。計画の主機30万KW3台の1台を可変速揚水型にしたのもその特徴であろう。当建設作業所は、土木技術者と電気技術者のタッグマッチは良好で、その基本を築き、他の作業所のお手本と成った。赴任先からの帰省はJRで大宮経由となる。それで同窓会東京支部にも顔を出す事になった。

その頃の会場は池之端文化センターだったが、県外勢としては私が第一号であり、皆勤を貫いて来たような気がしている。或る総会では余興でお粗末な剣舞をやらされた。剣道に強くても芸には結び付かない。でも今は奥伝の資格ではある。三味線では酒田、多賀城、青森、富山等の会場で、「その他大勢」の仲間に入れて貰って弾いた。それで幾らか自信も有ったのだが、8年前の脳梗塞で竿と撥(ばち)とがシンクロしなくなった。長工のマンドリンは実に素晴らしく、それも習いたかった。然し2丁の楽器も妹他に上げてしまった。私の長工東京支部への参加は30数年になるうか? 何れにしても長工の結束は実に素晴らしい。

何はとも有れ東京支部の40周年、本当におめでとう。長工の永久(とわ)の栄を祈るばかりである。



長岡花火の思い出

S36E 高山 紘一

東京支部の皆さんに望郷の話題をと依頼されましたので、長岡花火にまつわる小生の思い出話を提供することに致しました。平成28年夏、長岡の大手通りアーケードに長岡花火の大垂れ幕が掛けられました。復興祈願花火フェニックスが影絵の様な長生橋と共に写っています。長生橋は長工生のシンボルです。あの写真は中越地震10年目のフェニックス10ですが、打揚げ幅は1Kmを超え平原綾香の歌うジュピターに載せて5分間も揚がり、観る人の感涙を誘います。夢中で撮った中の1枚が市のコンペに入賞し、長岡市の刊行物や花火ポスターなどに頻繁に使って頂きました。我が長生橋の晴れ姿の一駒と言えりのかも知れせんね。



私の思い出

S46E 佐藤 満

長工同窓会東京支部40周年おめでとうございます。「私の思い出」 私は昭和46年電気科B組卒の佐藤 満と申します。長工卒業後は東京都内の会社に入社し、営業職に配属されました。勤務地は日本橋交差点近辺。昭和50年10月に茨城へ、昭和58年4月には福岡へ転勤、東京へ戻ったのが平成2年4月でした。14年6か月の転勤生活でした。帰京時は浦島太郎状態でした。20年前にあった「夢の島」は無くなり首都高速も多方面に伸びていました。人間関係は会社の人だけでしたので、なにか寂しさも感じました。その様な状況下で平成2年同窓会本部に連絡し東京支部があることを知り、当時電気会の会長中野緑栄様と連絡が取れ平成2年の支部同窓会から出席させて頂きました。その後平成3年4年と継続で出席しましたが、なにか違和感を覚え、6年7年と欠席しました。平成8年より再度出席していますが、現在の原副支部長とお付き合いするようになってから、いつからか同窓会役員の手伝いし、いつからか役員メンバーになっていました。それ以来 微力ですが同窓会の行事に協力させて頂いています。同窓生の「人と人のつながり」の大切さを感じているところです。昨年65歳で定年を迎えましたが、会社および顧客の要望もあり契約社員で通常勤務形態です。最低でもあと5年頑張ります。皆様「健康第一」です。



役員ご挨拶

同窓会 40 周年への思い

副支部長 S46M 原 勝英

我が長工同窓会東京支部がこの度、創設 40 周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

諸先輩方がたゆまぬ努力を重ねて今日まで来たこと、頭の下がる思いです。私自身同窓会に携わって 30 数年たちましたが、当時の池之端文化センター時代には会員の出席者が 300 名を超え大変盛大に行われていた記憶あります。

同窓会の懇親会・受付を行っていた頃、男ばかりと言う事で仲間の一人と花がないので、二人で談合してコンパニオンを独断と偏見で入れて、当時の機械会の井口会長に怒られた記憶があります。(費用は当初より二人で支払う用意がありましたので支部にはご迷惑をお掛けしませんでした) 今現在は高齢化が進み出席者数が 100 名前後になり、当時の 1/3 程度になりました。しかし、近年は各種同好会、対外交流も活発に行われており会員の活性化につながっていると思います。最後に長工同窓会東京支部並びに会員各位様の益々のご健勝を祈念申し上げます。



同窓会は不思議な空間

副支部長 S44M 金井 博光

同窓会とは不思議な組織で、親戚や会社、近所付き合い、などと比べ付き合い始めの雰囲気は非常にシンプルだと感じております。

60年以上の人生の中で、3年間在籍しただけで“同窓”という仲間意識に芽生え、同窓会が持つ独特な絆に驚きと新鮮さを感じております。

初めてお会いした方でも“同窓”を意識するだけで、同期を含め先輩と後輩とも短時間で打ち解け話すことができます。ここでは「相手の出方を探る」などの時間は不要で、当初からスムーズな会話ができることに大きな喜びと衝撃をもって接することとなりました。

社会的な地位や経歴、現在の立場を超えて(意識することなく)自由に交流できる場は貴重だと感じております。

星野周助さん(WS6)や中野緑栄さん(ES20)などの大先輩とはお話すらできない立場でありながら、“同窓”という不思議な空間では、仲間としてのお付き合いをさせていただくことができました。

創設40周年を迎え「同窓会における人的関係はスバラシイ！」が私の大きな収穫となっております。今後もこの大事な空間を大切にしたいと思っております。



長工同窓会東京支部 会員の皆様にご挨拶

理事長 S34W 元井 忠夫

この度、長工同窓会東京支部創設40周年衷心よりお祝い申し上げます。今思えば前年4月役員会におきまして、小生に突然大役の選任を頂き、身が引き締まる思いでした。同窓会東京支部の会員並びに歴代諸先輩が築かれました実績、人脈財産と近頃は発展的多種多様な関係団体との新交を深める等、念願の課題が山積と思っております。

これからも益々会員各位のご協力ご支援を賜り、更なる同窓会東京支部の伝統を継承し、一步一步前進出来ます様努力させていただきますので、尚一層のご指導応援よろしくお願い致しますとともに、末筆になりましたが会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



ご挨拶

事務局長 S44M 成田 修

昨年の支部総会での役員任期满了に伴う役員交代で、事務局長を仰せつかりました44Mの成田と申します。前役職は名簿担当役員として支部総会開催に向けての開催案内の作成、送付、取り纏め等を担当する役員として微力ながらお手伝いさせて頂いておりました。

今回は大関前事務局長の後任として、この大役をお引き受けすることになり責任の重大さを感じているところです。また、今年度は東京支部、創設40周年の記念する年となり、年々総会に出席する会員が少なくなりつつある中ではありますが、ご参加頂く皆様が参加して良かった”また来年も行ってみたい”と感じて頂ける総会に少しでも近づけることができるよう努力する所存です。

そこで、いままでの役員活動の中で私が感じている同窓会のあり方を少し述べさせて頂きたいと思います。何だかんだ言いましても同窓会ですので、同窓生の絆が大切となることは言うまでもありません。

平均寿命が延びて高齢者が増えてきている昨今、やはり健康でいつまでも元気に生活できることが何をおいても大切ではないでしょうか。その為に必要なことはコミュニケーションを図れる場をどのくらい持っているかということが重要な要素であると考えます。いろいろな場でいろいろな方といろいろな交流をすることが脳を活性化し、若さ維持する秘訣ではないでしょうか。いままで参加されたことが無い方、以前参加していたが途中で参加が途絶えている方、是非、気の合う同級(窓)のお友達に声を掛け、コミュニケーションを図る場として利用させて頂きたいと思います。



祝

東京支部設立40周年

会長 山下 進



一般社団法人

新潟県立長岡工業高等学校同窓会

〒940-0084 長岡市幸町1丁目13番8号 長工会館
TEL・FAX (0258) 33-3188番
アクセス先 <http://www2.nct9.ne.jp/koshinohirono/>

祝

40周年

東京三英傑

S20C 田原 吉郎 H13年藍綬褒章を受章
S20E 中川 伸策 H28年瑞宝双光章受賞
S21M 樋口 善八郎 純和風建築の匠

祝

東京支部創設40周年記念

長岡藩友軍

加茂支部長 小林 誠



祝

首都長慶健児 40周年

福電会

S29年電気卒
代表 小金井 弘一

40周年記念事業寄付者

平成30年3月末日までに寄付をお願いした方々です。

No.	会員番号	氏名	金額	No.	会員番号	氏名	金額
1	S20C0130	田原 吉郎	20,000	54	S36E0410	長谷川 進	1,000
2	S20E0240	太刀川 三郎	1,000	55	S36M030A	坂西 寛三	1,000
3	S20E026S	中川 伸策	1,000	56	S36M037A	堀 勲	3,000
4	S21M2480	樋口 善八郎	20,000	57	S36W0120	岡部 久雄	1,000
5	S23M0280	田中 豊	1,000	58	S37e0130	小島 洋	2,000
6	S25E0170	林 栄一	1,000	59	S37e0150	木間 勝	5,000
7	S25M0010	青木 誠作	3,000	60	S37e0160	齋藤 衛	1,000
8	S26M0200	佐野 昭一	3,000	61	S37e0170	佐藤 昭彦	1,000
9	S28M023A	土田 進	1,000	62	S37e0220	鈴木 久仁於	2,000
10	S28W0290	並木 政治	2,000	63	S37e0250	関 武一	3,000
11	S29E0220	関 泰	1,000	64	S37e0280	高橋 大二	3,000
12	S29E0260	土田 弘明	1,000	65	S37M011B	中村 秀和	2,000
13	S29E0270	富澤 敏範	1,000	66	S37M019B	椎野 信	4,000
14	S29E0360	樋口 昭	50,000	67	S37M024B	高橋 浩	1,000
15	S30C0290	中村 一政	1,000	68	S37M039B	目黒 将夫	1,000
16	S30C0330	星野 弘明	2,000	69	S38W0010	相澤 功	1,000
17	S30E0300	藤田 智三郎	3,000	70	S39C0400	若月 隆	1,000
18	S30M036B	矢久保 篤司	10,000	71	S39e0050	猪本 正行	1,000
19	S30W0060	内山 正之	1,000	72	S40C0130	加藤 智	6,000
20	S31E0080	大関 稔	1,000	73	S40E038A	見波 淳	3,000
21	S31E0140	小林 直助	1,000	74	S41E011B	太田 清治	1,000
22	S31E0170	鈴木 国雄	1,000	75	S41E023B	橘 鉄夫	8,000
23	S31E0220	高坂 五郎作	5,000	76	S41M014A	北澤 雄介	1,000
24	S31E0240	近藤 宗一	2,000	77	S41W0150	木村 正	1,000
25	S31E0270	田中 慶次	1,000	78	S42E0020	五十嵐 昭	1,000
26	S31M005B	小川 敏夫	1,000	79	S42M025B	白井 等	1,000
27	S31M017A	小泉 民明	2,000	80	S43e0050	大関 彰	1,000
28	S31M017B	佐藤 孝三	1,000	81	S43E018A	小西 俊博	2,000
29	S31W0070	大竹 誠次郎	3,000	82	S43M002C	浅間 文夫	1,000
30	S32E0370	宮田 隆	10,000	83	S44M010B	金井 博光	50,000
31	S32M011B	柳川 純之助	2,000	84	S44M030B	成田 修	1,000
32	S32M029A	太田 伍朗	1,000	85	S44M032C	永井 利矢	3,000
33	S32M035B	三木 逞弘	1,000	86	S44M038C	山崎 正二	30,000
34	S33E0100	小黒 友勝	1,000	87	S44M040B	脇屋 正則	9,000
35	S33E0160	小林 栄	10,000	88	S46E017B	佐藤 満	1,000
36	S33E0380	柳 秀次	1,000	89	S46e0180	桜井 栄一	5,000
37	S33E0390	山川 昭男	2,000	90	S46E025B	竹津 弘幸	2,000
38	S33M009A	大橋 淑宏	1,000	91	S46E026B	奈良場 慶三	1,000
39	S33W0340	長橋 久美夫	10,000	92	S46M014D	児玉 幸一	1,000
40	S34C0330	伏黒 三夫	1,000	93	S46M020C	塩入 晴夫	500
41	S34C0340	星野 卓史	3,000	94	S46M027A	原 勝英	50,000
42	S34C0370	半藤 功	1,000	95	S46M032A	松本 彰	10,000
43	S34M008A	大淵 平佑	5,000	96	S47e0080	金井 勉	5,000
44	S34M015A	木村 誠宏	5,000	97	S47M015A	小島 昇	1,000
45	S34M039A	吉荒 健司	5,000	98	S48E026B	永見 健治	1,000
46	S34W0170	島田 與五郎	1,000	99	S48M005D	板垣 睦夫	2,000
47	S34W0350	元井 忠夫	1,000	100	S50M036A	中村 核	1,000
48	S35E0210	杉本 久栄	1,000	101	S50M039C	渡辺 春夫	1,000
49	S36E0080	大嶋 實	2,000	102	S53C0110	五井 徹	3,000
50	S36E0130	刈屋 洋治	1,000	103	S56M034A	星 武彦	1,000
51	S36E0140	川村 吾一	2,000	104	S61E015A	近藤 栄治	1,000
52	S36E0310	阪西 保	1,000	105	大口寄付	その他	200,000
53	S36E0370	星 富夫	2,000	106	役員	有志	18,000
				107	上野観桜会	参加者一同	17,489

支部同好会活動紹介

LMC 登山同好会

会長 S29E 樋口 昭

LMC 発足 15 年経過し、初代リーダー川澄氏の言葉「自然を慈しみ、気の合った仲間で山を奔放に楽しもう」と今も変わらず、年 4~5 回は四季折々の山を訪れ、そして美味しいお酒を飲もうと、元気に活動しています。

平成 29 年度の活動結果を下記に示します。

<LMC 号旗> 実行した山行を記載

No.	行事名称	実施日時	実施場所	参加者
1	観桜会	H29-3-25	上野公園	20 名
2	夏山合宿	H29-8-21/23	鳳凰三山	6 名
3	芋煮会	H29-10-4	梶さんファーム	9 名
4	忘年山行	H29-12-18/19	日光澤温泉	7 名
5	新年山行	H30-1-23	景信~高尾、城山	8 名予定



<第一回山行：H15-8> 谷川岳、皆まだ若かった。 <H29-12、忘年山行：日光澤温泉にて> 隊長は先発し不写。



尚、詳細は同窓会 HP「長岡工業高校同窓会東京支部」で検索してください。

(S36E 阪西記)

芋煮会（収穫祭）のお誘い

S36E 梶山 實

H29-10-4 日、LMC 行事の一つである芋煮会（収穫祭）が深谷・カジサンファームで行われた。10 時過ぎに畑に集い、各自の役割を決め、料理の開始です。メニューは①山形風芋煮鍋、②釜で炊く「松茸ごはん」、③蒸し芋（薩摩芋、じゃが芋、里芋）、④茹で落花生、⑤コンロを囲んでのバーベキューです。（写真は当日の参加者）12 時過ぎ、乾杯・懇談・酒が進み校歌・応援歌の合唱、14 時半終了、帰りに畑の作物をお土産に再会を約した。この芋煮会のスタートは H20/10 月、LMC 会員の相模原長竹の里山（櫻井ファーム）で一泊の芋煮会に始まり、LMC 会員以外の方も沢山参加され、毎年続いていた。H26 年 8 月櫻井ファームの奥様のご病気で休会となったが、H29/7 月、東京支部総会の折り、カジサンファームが引き受けることで頭書の計画が実行されました。今後は日帰り、一泊のどちらも出来る芋煮会にしますので、次回、多くの方々の参加をお願いします。



コーラス部会（Liberty Glee Club）について

幹事 S36E 星 富夫

東京支部コーラス部が発足したのは平成 22 年度の総会時です。

指導は水野先生で、事務局は川澄さん、会長は樋口さん。工業高校出身者ですから、音楽の素養ができておらず、水野先生は苦勞されたようです。最初の練習の時、樋口さんが会の名称を Liberty Glee Club (LGC) と命名され、我々は名前負けして恥ずかしいような気がしておりました。

発足時に、練習は毎月一回、1 年間の成果を支部同窓会に発表すると決まり、曲目は唱歌、童謡、歌謡曲から、皆さんが親しんだ昔の歌から選んで、歌いました。

毎月の練習の後、昼食会、カラオケをやり親睦を図っております。

発足から間もなく勝沼さん (E36) が加わり、少しずつコーラス部の体になってきました。

水野先生は音程を示して、ピアノを弾き、我々が初めての曲も丁寧に教えてくださいました。2 年後、川澄さんが新潟に帰られ、また水野先生が突然引退され、大変困っておりましたら、勝沼さんが教えてくれることになり、ほっとしました。現在会員は 12 名で練習しております。勝沼先生は工業高校卒でも、昔、コーラスの経験があつて、音程もしっかりしており、熱心に教えて頂いております。平成 30 年度支部同窓会に発表曲目も決まり、腹から声出して、皆さんと歌うことは、ストレス解消に大変良く、希望者は入部歓迎です。

幹事 S44M 成田 修

幹事 S37e 小島 洋

第15 秩父羊山の芝櫻と秩父神社参拝（平成27年4月24日、参加者5名）

幹事 S33E 山川昭男

平成29年度総会報告(写真集)

平成29年7月1日 (於 オーラム)



支部長挨拶



本部長挨拶



母校学校長挨拶



新役員紹介



70歳功労者表彰



コーラス同好会による合唱



佐渡稽古舞の皆さんによる踊り



若波会による佐渡おけさ



応援歌を歌って

総会参加者の声

総会に参加して

S32E 宮田 隆

行田（ドラマ：陸王の舞台）の片田舎から早めにローカル線を乗り継ぎ出かける。御徒町界隈を散策がてら会場へ。懐かしい顔、暫くぶりの顔、・・・顔。母校や同窓会本部の情報に聞き入る。酔うほどにあの頃にタイムスリップ、ほろ酔いで帰る。同級生が多数参加しているグループもある。価値観の多様化する中、長工時代の多感な時を共有した仲間が集い、一時の交歓をするのも一興と思う。

平成15年、学年幹事を受けてから出来るだけ参加を心懸け、直近では11回連続参加であった。同期や、元会社の同窓会に声を掛け、誘っているがなかなか会えない。近年、個人情報壁で連絡が難しくなってきた。退職後書き始めた10年日記の2冊目が最終年となり、いつの間にか参加メンバーの中でも高齢の部類になってきた。一方、運営メンバーが若い世代になって活動の活性化が図られ感謝に堪えない。少子化や進学率向上などの影響で、首都圏への同窓生の供給もほぼ停止、現会員も高齢化で漸減する中、何れ限界が来るだろうが、今暫くは大丈夫と思う。伝手を頼って勧誘する努力をしながら、健康に留意し、参加して行きたいものだ。



これからも、ずーっと参加しよう

S52e 池田 豊

初めて参加した時には、まだ池之端文化センターで科別に総会を行い、その後に合同で懇親会を実施していた事を思い出します。電子科は人数も少なく、e37の一期生の皆様に可愛がって頂き、翌年も参加する意思を持って帰宅した事が懐かしいです。ある年には、右肩鎖関節脱臼でギプスをしたまま参加した時も、諸先輩方から優しく声を掛けて頂き「これからも、ずーっと参加しよう」と心に決めたものでした。

現在のような全科合同での総会と懇親会が開催されるようになった時には、最年少で総会・懇親会の役員となり、

司会の大役を仰せつかり緊張に震えながら、総会の進行をした事が思い出されます。それから幾度と司会をさせて頂きその都度、諸先輩方より「来年もまた来いよ」などのお声を頂き、安堵した記憶が蘇ります。

懇親会では、抽選会に歌謡ショー、佐渡おけさ（若浪会）等のイベントにコンパニオンのお嬢様方がいた年も有り、楽しい思い出として刻まれています。

この間、群馬県みどり市、福岡県福岡市、北海道恵庭市、現在の兵庫県伊丹市と約13年間の単身赴任生活で、一時的に役員を離れましたが、総会には参加を続けました。残念ながら昨年は、勤務の都合で初めて欠席となりました。

若手と言われ続けている52卒も還暦の年となりましたが、同窓会の中では永遠に若手なので、今後も健康に留意して総会への参加を継続します。



70歳功労者の代表として

S40C 加藤 智

平成29年 70歳功労者 S40C 丸山 忠信、加藤 智 2名で 寂しい感じでした。長工1年生からソフトテニス始めて現在も現役で続けております。光学関係の会社に就職して同郷の人(音楽の小宮先生のご子息)、長工先輩(板屋氏、大関氏)がおり、びっくり致しました。63歳で退社しました。長工同窓会東京支部の総会は池乃端文化センター時代に2回ほど参加しまして在校時にお世話になった先輩、森田 茂様にお会いしてお礼を言いました。現在の「オーラム」開催になり、7月の第一土曜に成り、行事が重なってしまいました。しばらくして土曜は同総会、日曜日は日帰り参加にしました。

そのうち同総会のみに参加して2004年にジョギング同好会に参加、その後大先輩の皆様に感激してLMC LGCに参加させていただき現在も毎月通っています。化学の大先輩星野氏からの要請で2010～総会担当2014～名簿担当となっております。今後益々長工同窓会東京支部が発展しますよう尽力したいと思っております。



平成29年度(2017) 長工同窓会 総会・懇親会 出席者名簿 (敬称略)

No.	卒業年	科別	氏名	No.	卒業年	科別	氏名	来賓	氏名
1	昭20	化学	田原 吉郎	46	昭36	機械	堀 勲	本部来賓	
2	昭20	電気	中川 伸策	47	昭36	染織	平澤 司郎	学校長	太田 洋一
3	昭25	電気	林 栄一	48	昭36	電気	大嶋 實	同窓会長	山下 進
4	昭28	染織	並木 政治	49	昭36	電気	梶山 實	同窓会事務局長	佐々木 俊夫
5	昭29	電気	川上 茂	50	昭36	電気	勝沼 正敬	同窓会事務局次	中島 隆雄
6	昭29	電気	土田 弘明	51	昭36	電気	刈屋 洋治		
7	昭29	電気	富沢 敏範	52	昭36	電気	川村 吾一	若波会	
8	昭29	電気	樋口 昭	53	昭36	電気	阪西 保	会長	斉藤 実
9	昭29	電気	関 泰	54	昭36	電気	平賀 芳三		
10	昭30	化学	星野 弘明	55	昭36	電気	星 富夫	村松高校同窓会	
11	昭30	染織	内山 正之	56	昭37	機械	中村 秀和	会長	金子 鶴男
12	昭30	機械	矢久保 篤司	57	昭37	機械	椎野 信	副会長	吉井 清
13	昭31	機械	小川 敏夫	58	昭37	機械	高橋 勝次	副会長	石黒 四郎
14	昭31	機械	木村 保	59	昭37	機械	目黒 将夫	副会長	大橋 貞夫
15	昭31	機械	小黒 忠	60	昭37	電子	磯部 輝雄	監査	高岡 五百子
16	昭31	機械	北原 時雄	61	昭37	電子	小島 洋	総務委員長	佐藤 起
17	昭31	機械	佐藤 孝三	62	昭37	電子	木間 勝	財務委員長	徳永 道子
18	昭31	染織	相沢 勝史	63	昭37	電子	齋藤 衛	総務副委員長	平山 誠一
19	昭31	染織	大竹 誠次郎	64	昭37	電子	佐藤 昭彦	幹事	波多 ミサエ
20	昭31	染織	恩田 眞二	65	昭37	電子	志村 直温	幹事	松澤 綾子
21	昭31	染織	片桐 謙一	66	昭37	電子	鈴木 久仁於	幹事	林 信子
22	昭31	染織	腰越 利男	67	昭37	電子	那須 武夫		
23	昭31	電気	大関 稔	68	昭37	電子	長谷川 隆		
24	昭31	電気	小林 直助	69	昭38	染織	相澤 功		
25	昭31	電気	坂井 正二	70	昭39	電子	井上 靖秋		
26	昭31	電気	近藤 宗一	71	昭40	★化学	加藤 智	支部会員出席者数	90名
27	昭31	電気	田中 慶次	72	昭40	★化学	丸山 忠信		
28	昭32	電気	貝瀬 利一	73	昭41	機械	北澤 雄介	来賓出席者数	16名
29	昭32	電気	高橋 孝夫	74	昭41	電気	橘 鉄夫		
30	昭32	電気	宮田 隆	75	昭42	機械	白井 等	出席者総数	106名
31	昭33	機械	大橋 淑宏	76	昭43	機械	浅間 文夫		
32	昭33	機械	大田 伍郎	77	昭44	機械	金井 博光		
33	昭33	機械	大平 悦三	78	昭44	機械	成田 修		
34	昭33	染織	長橋 久美夫	79	昭44	機械	永井 利矢		
35	昭33	電気	小林 栄	80	昭44	機械	山崎 正二		
36	昭33	電気	柳 秀次	81	昭45	染織	武樋 和夫		
37	昭33	電気	山川 昭男	82	昭46	機械	児玉 幸一		
38	昭34	化学	伏黒 三夫	83	昭46	機械	原 勝英		
39	昭34	機械	大淵 平佑	84	昭46	機械	松本 彰		
40	昭34	染織	島田 與五郎	85	昭46	機械	青柳 隆		
41	昭34	染織	元井 忠夫	86	昭46	電気	佐藤 満		
42	昭35	機械	久保 正勝	87	昭46	電気	竹津 弘幸		
43	昭35	電気	杉本 久栄	88	昭46	電気	奈良場 慶三		
44	昭36	機械	河野 末次	89	昭46	電子	野崎 敬策		
45	昭36	機械	坂西 寛三	90	昭48	電気	永見 健治		

★は70歳表彰の方々です

